



株式会社エймラック
ニッポンクラウドワーキンググループ

www.aimluck.com

目次

- ・ 事業案内
- ・ Aipoストアのデモ
- ・ NCWGへの貢献
- ・ クラウドベンダーによる利用方法
- ・ アプリベンダーによる利用方法
- ・ 課金モデル
- ・ 提携
- ・ NCWGとAipoの今後

事業案内

経営理念

「新しいコミュニケーションを創造する」

クラウド事業

オープンソースグループウェア



クラウドグループウェア



グループウェア「Aipo」のコンセプト

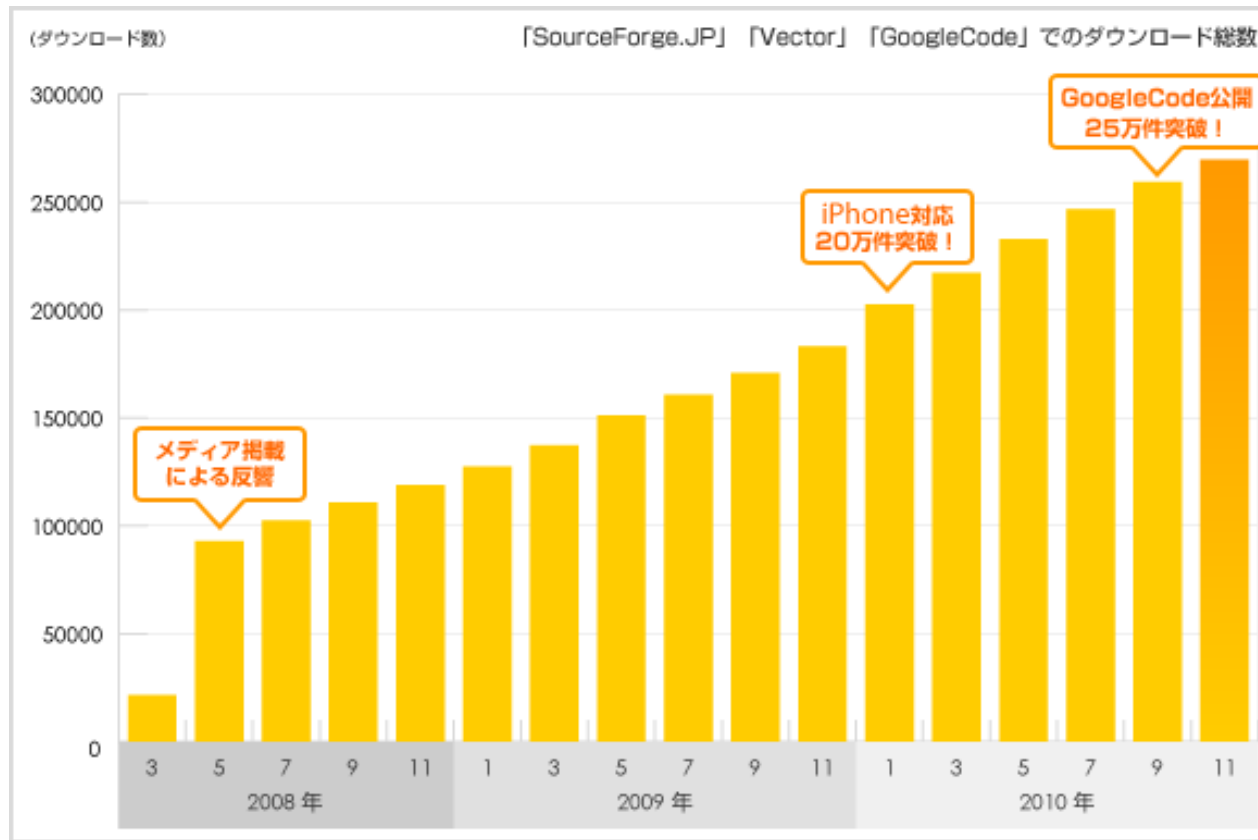
「企業の未来をつくる」





Aipo6

300,000件





1,000社



オープンソースグループウェア



OEM+カスタマイズ

クラウドグループウェア



月額料金

「企業オープンプラットフォームをつくる」

アプリベンダーがさまざまなアプリを提供し、利用企業がさまざまなアプリを利用できる



ユーザーが必要なアプリをいつでもインストールできる



Aipoストアのデモ

すべての企業データにいつでもアクセスできる



すべての端末がWiFi(無線LAN)でインターネットへつながっている。

NCWVGへの貢献

「クラウドベンダーとアプリベンダーとの連携役」

ベンダー同士を結びつけるプラットフォームを提供

利用企業



クラウドベンダー



アプリベンダー



オープンソースグループウェア



シングルテナント型 (クラウド環境に強い)

メリット

どこでもインストールできる

デメリット

バージョンアップ、メンテナンス、セキュリティ対策の運用体制を構築する必要がある

クラウドグループウェア



マルチテナント型 (スケールアウトに強い)

メリット

バージョンアップ、メンテナンス、セキュリティ対策の運用体制を構築する必要がなく、常に最新のものを利用できる

デメリット

他の環境にインストールできない



1. OpenSocialによる相互接続性
2. ガジェットの転用可能性
3. サムライクラウドの1プラットフォームとしてのAipo
4. Aipoのサムライクラウド連携実績

クラウドベンダー による利用方法

オープンソースグループウェア



イメージ提供

(仮想OSイメージにAipo6を組み込む)

クラウドグループウェア



バンドル提供

(クラウドサービスにAipo+をバンドルする)

アプリベンダー による利用方法

アプリベンダーのアプリをストアからクラウドベンダーへ提供



サムライクラウド対応を実施することで、
Aipoアプリとして利用可能



アプリケーションプール

Aipoアプリの対応を実施することで、
サムライクラウドへの対応が容易になる

課金モデル

利用企業がクラウドを契約する際にアプリを選択し、 クラウドベンダーによる一括課金

利用企業



クラウドベンダー



アプリベンダー



提携

事業提携や資本提携、ジョイントベンチャーによる
新しいビジネスモデルの創造

クラウドベンダー ↔ アプリベンダー



1. サムライクラウド対応アプリのAipo上での利用検証を進めていきたい
2. Aipoアプリのサムライクラウド対応への追加情報を整理していきたい
3. OpenSocialプラットフォームとしてのAipoの技術情報をNCWGと共有していきたい
4. Aipoとサムライクラウドアプリとの連携実績を増やしていきたい

ご清聴ありがとうございました

質疑応答